



藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。

## ドキドキワクワクの グループ活動

第二ひらの中では昨年十一月より新たな取り組みとして女子会・男子会を行っています。ご家族様やグループホームの職員の方のご協力を頂き、活動内で女子会を開いています。

今回はこの女子会について紹介します。女性の利用者さんがネイルやメイクでおしゃれをしたり、簡単なおやつクッキングなどおしゃべりを楽しみながら過ごす時間です。

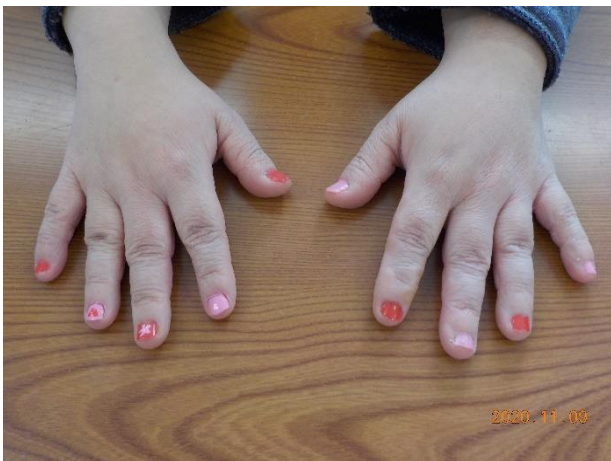
1番人気なのは女性利用者の皆さんにそれぞれ好きなマニキュアの色を選んで頂き職員がネイリストとしてマニキュアを塗っています。

その間、会話を楽しみ、利用者さんによつてはお化粧もしてリップで大人かわいくメイクアップも楽しまれています。中にはネイル自体が初めての経験であったり、おしゃれを楽しむ機会が今まで少なかった方もいて、みんなワクワクしながら「爪に♡マークを書いてほしい」「水玉模様にしたい!」「ミツキーを書いて!」などおしゃべりを楽しんでいます。だんだんと職員のネイリストとして

の腕も上がってきてみんな楽しんでいきます。何より親御さんやホームの方が「すごく可愛い」と絶賛して頂いています。

利用者さんの中には今度はネイルをしてあげたいと女性職員にマニキュアを塗ってあげる側になる人もいてすごく楽しい時間です。いつかおしゃべりをしてカフェにでもいきたいなあとと思います。

男子会ですが、体をいっぱい使ったゲーム、ホワイトデーのおやつ作り、普段の悩みや疑問に思う事を男性職員に相談したり話し合ったりしています。それぞれのグループが主体性をもって、まずは自らがやりたいと思う事を作り、それを実現していくようにグループでの活動や個別の活動に力を入れています



## 第二ひらの栄養士 インタビュー

日々の食事を美味しく食べてもらえるように、調理方法、味付けの工夫、不足がちな野菜を苦手意識なく食べてもらえる工夫を考えながら献立を作成しています。

和・洋・中バランスよく提供できるように心がけています。季節の旬の食材や、行事食、利用者さんが食べたいとリクエストがあったメニューも積極的に取り入れています。

毎日の食事のカロリーなどを記載した献立表を作成し事業所に掲示するなど、献立表を見るのが楽しい、昼食が楽しみと思ってもらえるように栄養士として、利用者さんに携わらせていただいています。



## 活動紹介

生活介護ひらのでは、毎週火曜日の午後に、「手話コース」を行なっています。「手話コース」とは、音楽に手話を組み合わせた、目でも耳でも楽しめるレクリエーションです。

手話の単語表現にはひとつひとつに由来があつて大変興味深く、また一つの単語を二本の手を使い、様々な表現が出来るので、皆さん職員の動きに合わせながらも、それぞれ個性のある表現をされています。



馴染みのある童謡や懐かしい昭和歌謡、最新のポップス等、皆さんのリクエストに応えて、様々なジャンルの音楽を取り入れていきます。定番の曲では、自然と手や体を動

かされている方もおられ、毎回心待ちにされているプログラムです。  
時には、ギター演奏やダンスも飛び出し、皆さん一体となつて楽しまれています。



## 居宅支援より

新型コロナウイルス流行から1年が経ちました。

感染予防の一環で、利用者さんが行きたいと希望される場所になかなか行けなかったり、外出先でのマスクの着用・手指消毒の徹底・食事の際の座席の位置工夫など、利用者さんに対して色々のご不便をお掛けしています。



出来る事が色々と限られている中で、楽しく余暇活動を行つてくれたのは、利用者さんの前向きな気持ちとご家族さんの理解があつての事だと思えます。

支援の終わりに「楽しかったよ」「また行こうね」と言ってもらえると、また頑張ろうという気持ちになります。

振り返ってみると、コロナ禍で不便な事はありましたが、楽しい余暇支援の思い出もたくさんありました。

これからも、感染予防及び拡大防止に最大限努めながら、皆さんに楽しく過ごしてもらええる支援を行つていきたいと思えます。



# おめでとうございます



Kさん

息子が3歳半検診で、発達の遅れがあると言われ、すぐに療育機関を紹介され、デイサービスを始めて利用したのがくれよんでした。

それから十二年間、くれよんの支援員さん達に支えられ、大きく成長しました。時には悪さをして注意され、ある時はよく出来たと褒められ立派にたくさん自分でこなせる事が増え、みなさんに支えられ卒業します。これからも、地域で頑張る息子の姿を見かけたらお声かけお願いします。今までありがとうございます。



Uさん

くれよんにお世話になり始めた頃は、こだわりが強くコミュニケーションが苦手な周囲の人とトラブルになりやすく不安な日々を過ごしていました。

年々、成長し自力通学や一人で買い物に行けるようになり、ここまで成長できたのは周囲の方々にご指導、ご支援して頂いたお陰です。長い間大変お世話になり本当にありがとうございます。



Iさん

くれよんさんで息子は、小学部四年生からお世話になりました。くれよんさんの職員の方々には、当初より息子の成長に合わせて手厚く取り組んで下さいました。

息子は高等部になると不安定になる事も多く自傷も出て大変でしたが、その都度職員の方々が息子に暖かく寄り添って下さり、色々と考えて対応して下さいました。くれよんさんでは息子は、大切な「人との関わる力」を育てて頂いたと思います。自分自身を理解してもらい、自分自身の思いや考えを伝えられる喜びを息子から感じられたように思います。また睡眠リズムが乱れる事が多く、睡眠がとれない日があると息子の体調を心配して下さい、その時には家族の体調の事まで気にかけて下さいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

九年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。

くれよん

卒業式



今年も毎年恒例のくれよん卒業式がおこなわれました。今年度の卒業生は4名でその中から3名の児童が参加しました。今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、2階、3階のフロア毎に別の日程でおこない、3密を避けた開催となりました。土曜日に開催した2階の卒業式ではうまい棒早食い大会が開催され、参加者も観戦者も白熱して大盛り上がりでした！最後のあいさつの時には雰囲気も変わりお別れの寂しさからしんみりとした空気に…。



3階の卒業式は平日におこなわれたので豪華なおやつや茶話会から始まり、OB職員からの手紙の代読、在校生代表、職員からの贈る言葉があり、卒業生は真剣に話を聞いて言葉をかみしめていました。



くれよんで過ごした日々を忘れずそれぞれ新しい生活を頑張ってもらえたらと思います。卒業おめでとうございました！

卒業生の保護者からくれよんを利用する中で感じた思いを書いて頂いたので、掲載したいと思います。ご協力ありがとうございました。

